

令和7年 7月～9月期 作州津山商工会管内景況（DI）調査

調査方法 専用ホームページ及び経営指導員による訪問調査

対象企業 作州津山商工会管内の小規模事業者 120 事業所

製造業	建設業	卸小売業	サービス業	合 計
24	31	28	37	120

調査結果の概要

＜全体 ～仕入DIは高水準の悪化が続く、採算性も悪化の状況が続く～＞

令和7年第二四半期(前回調査)と同様に、仕入DIが一層大きく悪化しています。

今後の見通し(令和7年10～12月)は、仕入DIは若干緩和と採算の引き続きの悪化が見込まれています。

＜製造業 ～売上DIは大きくプラス水準、資金繰りDIは引き続き厳しい状況～＞

売上DIは41.7(前回8.3)、採算DIは16.7(前回▲20.8)、資金繰りDIは▲8.3(前回8.3)となりました。

今後の見通し(令和7年10～12月)は売上DIは好転減少、採算DIは好転減少、資金繰りDIは悪化維持の見込みにあります。

＜建設業 ～売上DIはマイナス水準に転落、採算・資金繰りDIは引き続き厳しい状況～＞

売上DIは▲12.9(前回3.2)、採算DIは▲19.4(前回▲22.6)、資金繰りDIは▲3.2(前回▲6.5)となりました。

今後の見通し(令和7年10～12月)は売上DIは好転、採算DIは好転、資金繰りDIは好転の見込みにあります。

＜卸・小売業 ～売上DIは±水準であるものの採算・資金繰りDIは引き続き厳しい状況～＞

売上DIは0.0(前回17.9)、採算DIは▲21.4(前回▲25.0)、資金繰りDIは▲17.9(前回▲21.4)となりました。

今後の見通し(令和7年10～12月)は売上DIは悪化、採算DIは悪化、資金繰りDIは悪化緩和の見込みにあります。

＜サービス業 ～売上DIはプラス水準を維持したものの、採算DI、資金繰りDIは引き続き厳しい状況～＞

売上DIは21.6(前回24.3)、採算DIは▲8.1(前回▲10.8)、資金繰りDIは▲2.7(前回▲21.6)となりました。

今後の見通し(令和7年10～12月)売上DIは好転減少、採算DIは悪化維持、資金繰りDIは悪化の見込みにあります。

＜業種別業況＞

卸・小売業で仕入単価DIがマイナス60ポイント超水準であり、今後の見通しも厳しい状況。

＜時系列比較＞

売上DIは建設業を除きプラス水準が続く。

採算DIは製造業を除きマイナス水準。

資金繰りDIは全業種でマイナス。令和6年4～6月調査以来。











＜業況変化の要因＞

民間需要の活性化や販売・受注の増加により業績が好転しています。











仕入価格の上昇(商品、原材料等)が1位回答の最多となっています。

～業種別比較表～











○製造業

比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和 6 年 7 月～9 月	天気図					
	D I	41.7	-58.3	16.7	33.3	-8.3
来季（見通し）比較 令和 7 年 10 月～12 月	天気図					
	D I	8.3	-37.5	0.0	25.0	-8.3











○建設業

比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和 6 年 7 月～9 月	天気図					
	D I	-12.9	-45.2	-19.4	19.4	-3.2
来季（見通し）比較 令和 7 年 10 月～12 月	天気図					
	D I	9.7	-22.6	0.0	19.4	0.0

○小売業

比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和 6 年 7 月～9 月	天気図					
	D I	0.0	-67.9	-21.4	14.3	-17.9
来季（見通し）比較 令和 7 年 10 月～12 月	天気図					
	D I	-14.3	-35.7	-35.7	7.1	-10.7

○サービス業

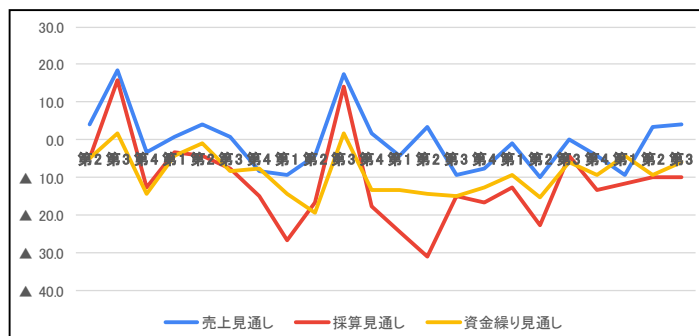
比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和 6 年 7 月～9 月	天気図					
	D I	21.6	-35.1	-8.1	16.2	-2.7
来季（見通し）比較 令和 7 年 10 月～12 月	天気図					
	D I	10.8	-24.3	-5.4	10.8	-5.4

～天気図の指標～

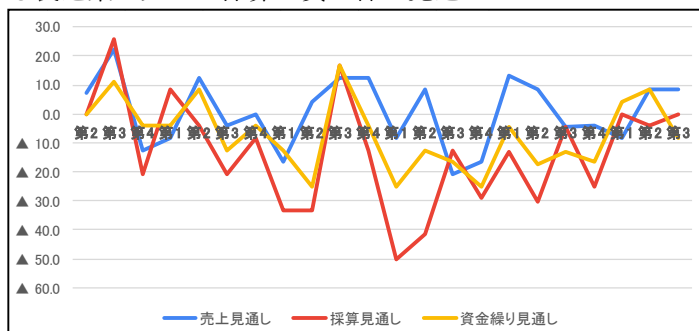
状 況	快晴	晴れ	曇	雨	雷
天気図					
D I	30～	10～	0	-10～	-30～

～グラフによる今後の見通し～

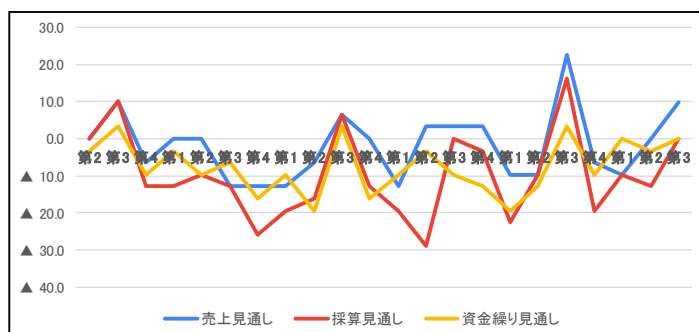
◎全体の売上・採算・資金繰り見通し



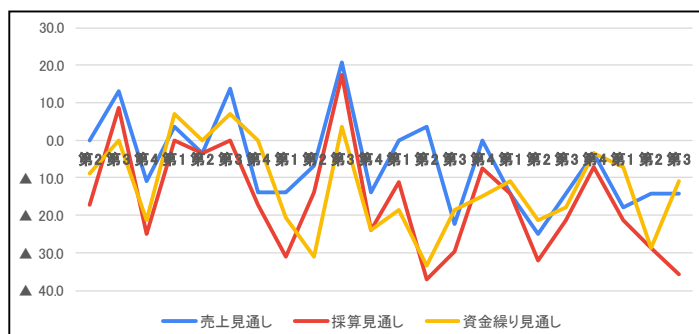
◎製造業の売上・採算・資金繰り見通し



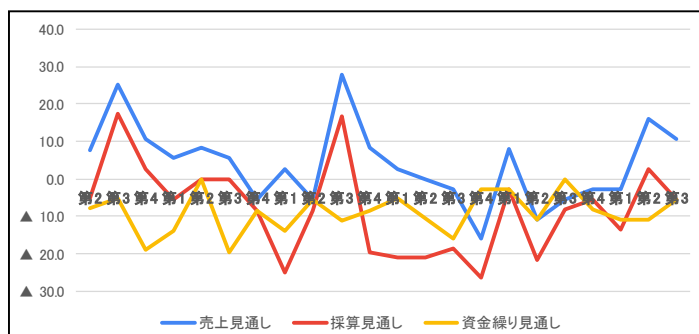
◎建設業の売上・採算・資金繰り見通し



◎卸・小売業の売上・採算・資金繰り見通し



◎サービス業の売上・採算・資金繰り見通し

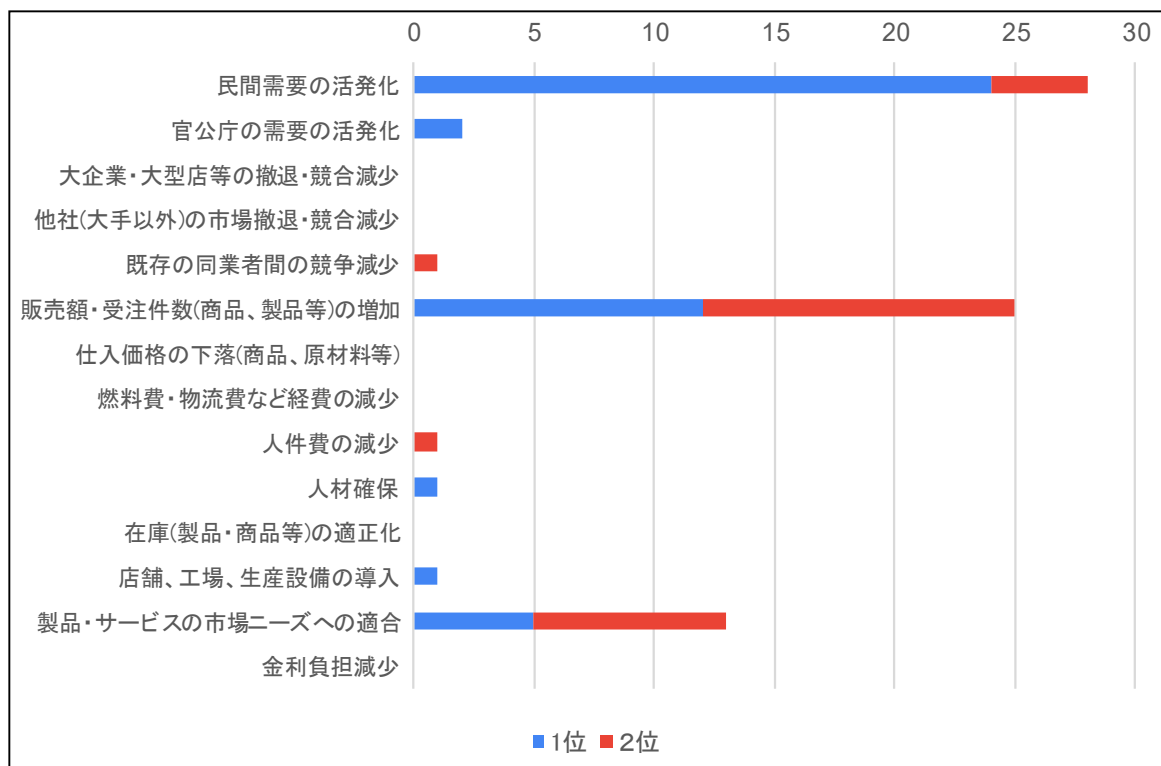


— 売上見通し — 採算見通し — 資金繰り見通し

○業況変化の要因

～景況が好転・増加した理由～

民間需要の活性化や販売・受注の増加により業績が好転しています。



～景況が悪化した理由～

仕入価格の上昇(商品、原材料等)が1位回答の最多となっています。

